

ゆうき市議会だより

第175号

平成26年5月1日



第1回定例会

2月28日～3月19日

平成26年度一般・特別・企業会計当初予算

総額303億8,402万円を可決

平成26年結城市議会第1回定例会は、2月28日に招集され、3月19日までの20日間にわたって開かれました。

初日には、平成25年度の各会計補正予算や平成26年度の各会計当初予算をはじめ、条例や諮問など市長提出案件35件、請願1件が上程されました。平成25年度の各会計補正予算など先議（定例会の冒頭で議決を行うこと）が必要な案件12件については、初日の審議を終えて、すべて原案のとおり可決となりました。また、平成26年度の各会計当初予算については、議員全員で構成される予算特別委員会（委員長に大里榮作議員、副委員長に黒川充夫議員）を設置し、審査が付託され、その他の案件については、各常任委員会に審査が付託されました。

会期中には一般質問の2日間をはじめ、総務、産業・建設、教育・福祉の3つの常任委員会ごとに審査が行われ、予算特別委員会については、7日間にわたって審査が行われました。最終日には、各常任委員会や予算特別委員会へ付託されていた案件の審査報告が行われました。

議案質疑

◆ 訴えの提起について

Q 県道矢畑・横倉新田線に係わる案件であるが、解決するまでにはどのくらいの期間がかかるのかについてお聞きしたい

A 県道矢畑・横倉新田線バイパス事業地内、共有地の分割請求訴訟につきましては、今議会の議決後、本市の顧問弁護士と協議の上、時期的なものが決まっていくと考えております。

《選任関係》

◆ 結城市政治倫理調査委員会の選任について

結城市政治倫理調査委員会

の委員の選任に同意しました。

中山徹雄氏
篠崎恵子氏
野原達男氏
小島浩一氏
滝澤学氏
黒田田吉氏
大嶋みな子氏

◆ 結城市教育委員会の委員の選任について

結城市教育委員会の委員の選任に同意しました。

小林仁氏

《諮問関係》

◆ 人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。

大越公子氏

《請願について》

第1回定例会で審査された請願の結果は、次のとおりです。

継続審査となったもの

○ 要支援者を介護予防給付から切り離すことに反対の請願

《結城市議会庁舎建設特別委員会の報告について》

全員一致をもって可決決定され、本委員会は報告をもって終了しました。

結城市議会庁舎建設特別委員会報告書より

調査の結果

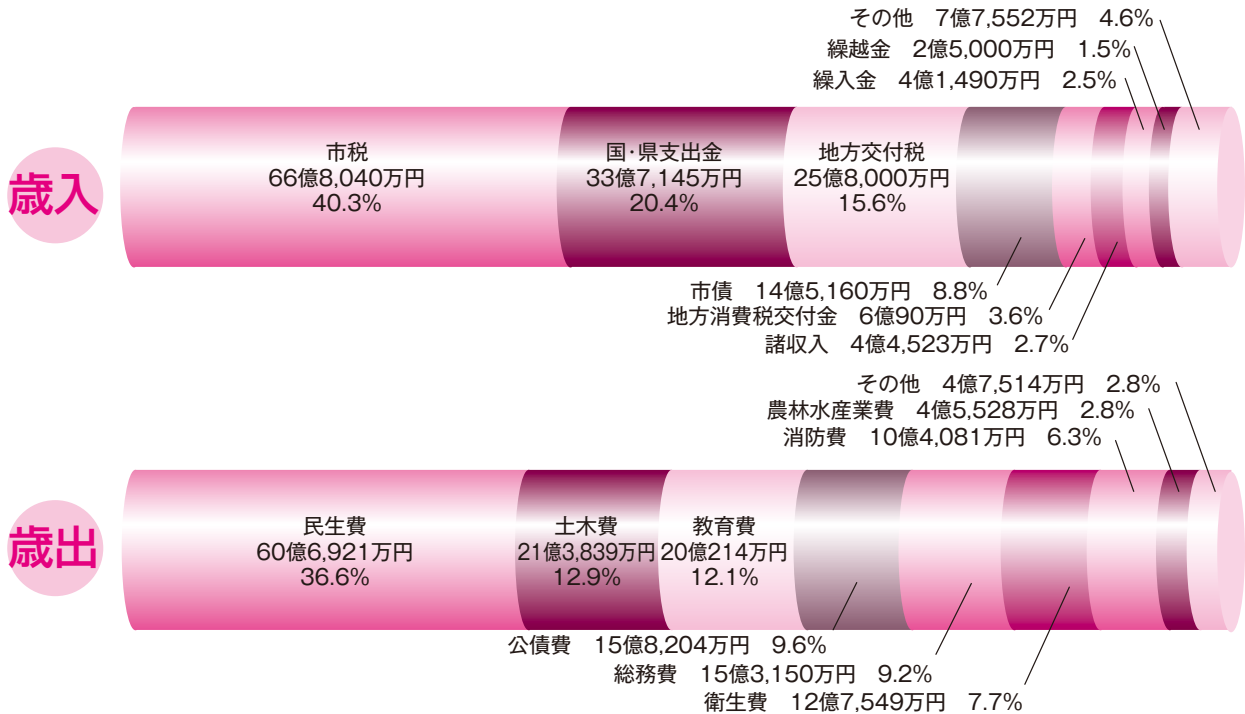
本特別委員会は、「行政サービスの充実」「安全・安心な災害に強いまちづくり」のために、6回にわたり調査研究及び先進地視察を重ねてまいりました。

また、委員アンケートを実施した結果、多くの委員が移転新築の意見であり、現庁舎の欠点や必要な機能については、防災拠点としての機能、交通アクセス、機能の分散（一元化）、ユニバーサルデザイン等、多くの意見が出されております。視察で得られた重要な情報や委員アンケート結果を踏まえて、本特別委員会として以下の事項を、まとめといたします。

- (1) 庁舎建設について、結城市の将来ある都市像として、可及的速やかに、そして計画的に移転新築を望みます。
- (2) 行政サービス、防災拠点、交通アクセス等を考慮し、建設立地の選定を望みます。
- (3) 東日本大震災後、市庁舎の耐震化の重要性が叫ばれており、新庁舎は重要な防災拠点として、十分な防災対策が図られることを望みます。
- (4) 新庁舎建設にあたっては、駐車場の確保、バリアフリー化、ユニバーサルデザイン等の利便性を十分考慮したうえでの建設を望みます。
- (5) 既存施設の跡地利用、分庁舎の有効利用については、庁舎建設基本計画に合わせての熟慮を望みます。
- (6) 執行部における結城市庁舎建設検討、今後の基本計画等においては、議会と共に進めることを望みます。

平成26年度 結城市予算の概要

一般会計 165億7,000万円



一般会計性質別内訳

(平成26年3月1日現在52,912人)

科 目	予 算 額	市民1人当たり
1 人 件 費	26億 5,676万円	50,211円
2 物 件 費	22億 7,784万円	43,050円
3 維 持 補 修 費	1億 5,907万円	3,006円
4 扶 助 費	35億 7,320万円	67,531円
5 補 助 費 等	23億 9,990万円	45,356円
6 普 通 建 設 事 業 費	14億 1,294万円	26,704円

科 目	予 算 額	市民1人当たり
7 公 債 費	16億 1,538万円	30,529円
8 積 立 金	702万円	133円
9 貸 付 金	1,450万円	274円
10 繰 出 金	24億 1,839万円	45,706円
11 予 備 費	3,500万円	661円
歳 出 合 計	165億 7,000万円	313,161円

特別会計 (10会計) 120億5,178万円

- ・ 国民健康保険……………62億4,470万円
- ・ 後期高齢者医療…………… 4億4,340万円
- ・ 介護保険……………32億 310万円
- ・ 公共用地先行取得事業…………… 1,349万円
- ・ 下館・結城都市計画事業
結城南部第二土地区画整理事業… 2億9,870万円
- ・ 下館・結城都市計画事業
結城南部第三土地区画整理事業… 1億6,690万円
- ・ 下館・結城都市計画事業
結城南部第四土地区画整理事業…………… 1億4,160万円
- ・ 公共下水道事業……………14億1,120万円
- ・ 農業集落排水事業…………… 1億2,450万円
- ・ 住宅資金等貸付事業…………… 419万円

企業会計 (水道事業) 17億6,224万円

- ・ 収益の収支……………12億 251万円
- ・ 資本的収支…………… 5億5,973万円



佐藤 仁 議員

ふるさと納税の充実に結城ブランドを！

平成20年度から、このふるさと結城応援寄附金として、ふるさと納税制度がありますが、結城ブランドで認定された品々を、ふるさと納税で、寄附して頂いた方々に特典として、贈呈することはどうか？

市長 ふるさと寄附金と結城ブランドの活性化を図るための方向性として、市外に向けて結城ブランドを発信していくことは、市のPR事業の目的である交流人口と定住人口の増加を図るうえで、最も重要なことと考えているところでございます。その手段のひとつとして「ふるさと結城応援寄附金」に対する記念品制度を創設することは、効果が十分に期



▲結城ブランド認定品

待できるものと考えており、今後、さらに課題を整理しながら、制度の充実を図ってまいります。

地域づくりの新たな観光「フットパス」

ウォーキングが、静かなブームを呼んでいる昨今、観光と、ウォーキングを結び付け、地域振興を考えた時、自然を生かしたウォーキング（フットパス）で観光する様な、整備をすすめることが、観光振興の良策と考えます。また、フットパスの先進地でもあり姉妹都市である長井市との交流を含めたフットパスの導入について

市長 姉妹都市の長井市がフットパスのパイオニアであることは、本市にとりましても大変幸運なことですので、この縁を大切にして、姉妹都市交流の一環として取り組んでまいります。フットパスの整備は、小さな投資で地域資源の再発見やコミュニティの形成、健康増進など、観光客、市民を問わず非常に大きな効果が期待される事業でございます。また、本市が優れた歴史や自然を有し、観光振興を目指してPRに努めていることを考えますと、事業化にあたっての条件が整っていると認識しております。



▲見世蔵めぐり



稲葉 里子 議員

子育てニーズ調査の結果について

0歳から5歳の保護者1,500世帯を対象にした子育てアンケートの集計結果は？今後、従来の延長線上ではない、思い切った子育て支援策が必要ではないか？

保健福祉部長 例えば、“子育てや教育に関して、日常的に悩んでいること、または気になることはどのようなことか？”との設問に対し、「子どもとの接し方に関すること」と回答した方が43.2%、「病気や成長に関すること」が37.8%、「食事に関すること」が35%、「子どもの教育に関すること」が26.8%となっている。今回の結果を踏まえて「子ども・子育て会議」に諮り、保護者の皆様が必要としている事業を盛り込んだ「子ども子育て支援事業計画」を26年度中に策定し、計画に沿った事業を展開していく。

人口減少と税収減を見据えた公共施設白書を

近い将来、公共施設を一斉的に更新する時期が来る。一方で少子高齢化と人口減少が進み税収が減少し、公共施設の維持管理等に多くの予算を振り向けることが難しくなるだろう。市の全体像を捉えるために、早期の公共施設白書づくりが必須ではないか？

市長公室長 国では、人口減少等により公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されることを踏まえ、財政負担の軽減・平準化及び公共施設の最適な配置の実現を目指している。計画策定に対する国の支援や計画に基づく公共施設等の除去への地方債の特例措置創設などが考えられているので、国の指導も踏まえ、「公共施設白書づくり」を進めていきたい。

ごみ集積所の設置に関する基準について

ごみ集積所として適した土地が見つからなくて困っている自治会はたくさんあります。設置基準や要綱などを定める必要があるのでは？

市民生活部長 設置基準の明文化について、他市町村では取り扱い要綱を作成しているところもあるが、明文化によって不具合が生じる恐れもあるので、引き続き、慎重に検討していきたいと考えている。



大橋 康則 議員

防災ネットワークを構築し総合的災害対策を

本市は火事、地震や集中豪雨などの対策は万全の体制を整えているが「竜巻」に関しての対策を講じると共に、その他想定できる災害に対し総合的な危機管理マニュアルや自治会を中心とした防災ネットワークの構築をお願いしたい

市民生活部長 平成26年度から「結城市デジタル防災行政無線」の整備で迅速な情報提供、警戒広報などの呼びかけが可能となる。消防庁や気象庁など、国の機関が発信する警戒情報を、24時間、屋外拡声器、ホームページ、ケーブルテレビ、メール等へ送信するシステムを整備し併せて自治会単位の防災組織、活動マニュアル、防災マップを定める「自主防災組織」の結成促進、活性化を進めていく。

公民館を地域コミュニティの再生の拠点に!

私は常々行政に頼ることなく、地域や家庭、その住民との協働の形が今後の地方自治の基本となるべきと考えており、まさに公民館は地域のコミュニティを再度構築する重要な役割を担っている。新庁舎に併せて今後の方向性を検討して頂きたい

市長 公民館の、地域における学習・活動拠点としての重要性を実感しており、そのあり方及び整備手法の検討を進めていく。あり方の中では、位置づけ、市庁舎との兼ね合い等についても、検討し、適切に判断していく。



▲公民館まつり(ゆう・遊祭)

茨城国体2019及び東京2020オリンピック・パラリンピックへの考え方・支援体制についてもお尋ねをし、本市では、国体でバレーボール少年女子、デモンストラレーション競技では、パークゴルフの開催地となり、最高の「おもてなし」と「一体感」や「絆」を感じて頂けるよう努めると市長から答弁があった。



平塚 明 議員

環境対策について

①太陽光発電の補助金の26年度予算の拡充について②雨水タンクの普及について③結城市環境基本計画の市民への周知について④七五三場地内の蛍やサワガニの生息地の保全について伺いたい

市民生活部長 ①補助金の予算は26年度に1千万円へ拡充する。②雨水タンクは、環境に優しい街づくり推進のためPRに努めたい。③環境基本計画はHPにも掲載し、市民への周知に努めたい。④蛍の生息地については地元と連携を図り保全に努めたい。

市内の空き家について

市内に危険な空家はどのくらいあるのか

市民生活部長 市内消防団の協力を得て実施した調査

では290件を確認した。

赤十字献血事業について

献血事業については少子高齢化社会を迎え高齢者の利用が増える中、10代、20代の献血協力者が少なくなってきた。現在の結城市としての啓発と、近隣の事業所の協力状況について伺いたい

保健福祉部長 広報結城での掲載やチラシ配布などで啓発に努めている。24年度に市内で献血会場を提供された施設は合計22箇所あり、日本赤十字社より結城信用金庫本店、日立化成下館事業所他7団体が献血功労により表彰された。



▲市内での献血風景

北部商店街の活性化について

北部商店街の活性化についての結城市の支援策をどう考えていくのか

産業経済部長 結城らしさの創出と個性的なまちづくりを目指した整備を行っている。

ほかに、結城市の広域道路整備、高速道路へのアクセスについて等の質問を行いました。



安藤 泰正 議員

ドッグランの新設をしてもらいたい

ペットを飼育するには、家族の一員として一生涯共に生活するため、衛生管理、ワクチン接種で予防し、イヌのしつけを行うことは当然なことです。しかし、動物にも適切な運動が必要です。まず、結城市では、イヌの飼育数と狂犬病ワクチン接種率や飼い主のマナー向上について伺います

市民生活部長 本市の飼い犬の登録は、平成26年1月1日現在、3,504頭、狂犬病予防接種頭数は、平成26年1月1日現在、2,558頭、73.0%の接種率となっております。飼い主や飼い犬のマナー向上については、毎年実施する犬の集合注射の会場において、フンの処理などの、マナーに関するパンフレットを配布し、犬のフン害が後を絶たない箇所については、立て看板の設置な

ど取り組んでおります。

本市には、3,504頭の登録犬がおり、新規登録代は1頭2,000円と注射済票代350円が納入されている。飼い犬たちは動物愛護法により放し飼いはできません。是非、飼い主さんや愛犬のマナー向上を推進するためドッグランを造っていただきたいので伺います

市民生活部長 ドッグランを設置するには、市民ニーズを把握するのに、アンケートなどで調査することも必要でございます。ひきつづき検討させていただきたいと考えております。

前場市長のご所見を伺います

市長 ドッグランの設置についてでございますが、イヌやネコを飼うことが癒しにつながることから、ペットブームが続いているように思います。県内に公設、民営を問わずドッグランの施設があることは、承知しているところであります。本市においては、現時点でドッグランを整備する計画はございませんが、先ほど、市民生活部長から答弁があったように、今後、市民の要望や適地の選定、管理体制や条件整備などの問題点を研究しながら、検討してまいりたいと考えております。



▲ドッグランの新設を



平 陽子 議員

地域コミュニティづくりに支援を

住民のコミュニティづくりには自治会や町内会の活動が重要ではないかと思えます。しかし、活発化している自治会、町内会はすくないのが現状だと思えます。行政が少し応援し、きっかけづくりに協力いただければ地域も元気なるし、地域が元気になれば結城市民も元気になる、それは結城市が元気になることに繋がります。是非応援をしていただきたいと思えます

市長 本市では「協働のまちづくり」を市政運営の重要施策と位置付けまして、積極的に地域社会が抱える公共的課題の解決に取り組んでいかなければ



▲市内のコミュニティ活動

ればならないと考えております。今後は、市民活動支援センターを中心に、さらなる情勢の提供と地域に対しても活動の支援ができる環境づくりを進めてまいります。

高齢者支援にサービス事業者との連携を

高齢者が住み慣れた地域で生涯安心して暮らしていくためには、介護保険によるサービスだけでなく、心身の状況や環境、生活実態に応じた様々な福祉サービスが必要であります。高齢者が安心して暮らせるように、いろいろな支援事業がひろがってきています。市民が利用しているサービス事業者はいろいろあるでしょうが、これらの事業者と見守り協定を結んで市内隅々まで見守り隊がいると安心、安全の環境がより充実していくのではないかと考えます

保健福祉部長 住み慣れた地域社会の中で、誰もが安全で安心な生活を送ることができるよう、高齢者や障害者など、地域の中で支援を必要とする方々に、各事業者が連携し、見守り活動を展開して、地域福祉の向上、及び安全で、安心な暮らしの実現を目指す取り組みが、県内の34市町村で展開されております。本市におきましても現在、協力いただく事業所や協力内容を検討するなど、準備を進めているところであります。



立川 博敏 議員

実効性のある第4次行政改革大綱を！

団塊世代の退職分を補充し終わったこれからの時期に、「効率的な組織機構の構築」「定員管理及び給与の適正化」をどのように実現しようと考えているのか？

市長公室長 今後、行動計画を策定する中で目標や年次計画を定めて推進するが、削減ありきで単純に割合等で目標値を設定するのではなく、行政サービスの水準を向上・維持しつつ提供していくため安定的な組織体制を構築することを念頭に置き、行政の担うべき役割と適正な人員及び組織について調査・研究を行いながら柔軟性をもって判断し、中期的な定員管理計画を策定していきたい。多くの部署で勤務している非常勤職員（嘱託・臨時職員）、今後増加が見込まれる再任用職員も、正職員と同様に運用を今後検討していく。

防災計画と連携した学校防災力強化を！

「地域との連携による学校の防災力強化推進事業」が推進されているが、防災計画との連携は？

市民生活部長 今回見直しを行った「結城市地域防災計画」に「地域活動と連携した実践的な防災教育」として位置付けした。今後も市内小中学校、県立学校毎に開催される「学校防災連絡会議」に担当職員が出席し、地域の防災組織・住民と連携した避難訓練等の実施、学校防災教育体制の整備や充実、地域と防災関係機関との連携強化のため各種の提案をしたい。

「地域との連携による学校の防災力強化推進事業」の目的や実施された内容が、本市の防災計画における避難所運営と整合性がとられているか？

教育部長 市内全小・中学校が避難所に指定されている。この事業により防災教育を充実させ、学校防災連絡会議を通じ地域との連携を密にすることで、学校に避難所を開設する場合には、円滑な運営ができるようになると思われる。今後、子どもたちの命と安全を守るため、結城市地域防災計画を基本とした上で、防災関係機関、地域との連携を深めながら、この事業を推進したい。



黒川 充夫 議員

非婚のひとり親家族への「寡婦控除」について

本市の、みなし控除があるなし「寡婦控除」があるなしで、保育料等に差が出ている現状の対応について

保健福祉部長 平成27年4月から、「子ども・子育て支援新制度」が施行することに伴い、保育料の算出方法についても、新たに決め直す作業があるので、その際に、非婚世帯の寡婦控除のみなし適用についても、保育料と合わせて市営住宅家賃についても検討したい。

消防団の処遇改善について

昨年12月の「消防団支援法」の成立を受け、消防団の処遇改善について、所見を賜りたい
市長「消防団支援法」が施行され、消防団員の退職報

償金に係る条例改正を上程した。この法律では、地域防災力の充実強化に関する計画、消防団の強化、加入促進、公務員の消防団員との兼職に関する特例を含め、全13項目が挙げられているので、随時、改善を図りたい。



▲出初式の放水風景

減反政策の廃止について

本市における減反政策の廃止による影響について

産業経済部長 本市としては、経営の転換もしくは離農する農家の方々に対して、農地中間管理機構を通じて、地域集積協力金や経営転換協力金などを活用し、支援して参りたい。また、離農する農家が増えると遊休農地が増え、農業・農村環境が大きく変化すると考えられるので、国の日本型直接支払制度を積極的に活用し、農業・農村における多面的機能を維持・発展させていく必要があり、今後、関係農業者等と農地条件の改善について話し合いながら、対策を講じていきたい。

ほかに、代読、代筆支援の充実についての質問を行いました。

委員会活動

総務委員会

総務委員会は、市長・関係部課長の出席を求め、3月12日に開催されました。審査は、予算特別委員会から本委員会の分科会へ付託された平成26年度結城市一般会計予算、平成26年度結城市住宅資金等貸付事業特別会計予算の議案2件、また、本委員会に付託された結城市安全な飲料水の確保に関する条例について、結城市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例についての議案2件、結城市政治倫理調査委員会の委員の選任についての選任1件、人権擁護委員候補者の推薦についての諮問1件について行われました。なお、付託された議案4件、選任1件、諮問1件については、すべて原案のとおり可決されました。



▲委員会での審査のようす

産業・建設委員会

産業・建設委員会は、副市長・関係部課長の出席を求め、3月13日に開催されました。午前中に、結城作地内の県道矢畑・横倉新田バイパス事業地内共有地、及び西の宮地内の見世蔵へ現地調査を行いました。県道矢畑・横倉新田バイパス事業地内共有地については、2月28日の開会初日に議決された、議案29号に関する共有地分割箇所を確認しました。西の宮地内の見世蔵については、平成23年度から平成25年度にかけて順次整備を進められた、旧藤貫氏別館見世蔵の改修工事であり、現場の状況を確認しました。午後の審査は、予算特別委員会から本委員会の分科会へ付託された議案8件、本委員会に付託された議案5件の計13件について行いました。また、審査の結果、付託された議案13件については、すべて原案のとおり可決されました。



▲西の宮地内見世蔵

教育・福祉委員会

教育・福祉委員会は、市長・関係部課長の出席を求め、3月17日に開催されました。審査は、予算特別委員会から本委員会の分科会へ付託された平成26年度結城市一般会計予算、平成26年度結城市国民健康保険特別会計予算、平成26年度結城市後期高齢者医療特別会計予算、平成26年度結城市介護保険特別会計予算の議案4件、本委員会に付託された結城市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例についての議案1件、結城市教育委員会の委員の選任についての選任1件、要支援者を介護予防給付から切り離すことに反対の請願1件の計7件について行われました。なお、付託された議案、選任については、すべて原案のとおり可決されました。また、請願については、なお審査を要するため、閉会中の継続審査とすることになりました。



▲委員会での審査のようす

永年勤続議員表彰

平成26年2月28日、結城市議会褒賞内規による永年勤続議員として、勤続10年以上に大里榮作議員、金子健二議員、池田二男議員、秋元昇議員、大木作次議員、立川博敏議員が功績をたたえられ、感謝状が授与されました。



池田 二男
議 員



金子 健二
議 員



大里 榮作
議 員



立川 博敏
議 員



大木 作次
議 員



秋元 昇
議 員

ゆうき市議会だよりは、目の不自由な方向けに、ボランティアグループ「ボイスフレンド」の皆さんのご協力をいただき、毎号、カセットテープ版の発行や対面朗読を行っています。
ご希望をされる方につきましては、社会福祉協議会（☎33・0225）までお問い合わせください。

議会を傍聴しませんか

受付で住所、氏名などを記入するだけで簡単に傍聴できます。

詳しいことは、議会事務局まで
(0296-32-1111内線304・305)

平成26年第2回定例会のお知らせ

結城市議会 次回定例会の開催予定

6月 5日 本会議（開会）
6日・9日 一般質問
10日・11日・12日 常任委員会
18日 本会議（閉会）
(日程が変更になる場合もあります。)

★議会日誌

《1月》

28日～29日 議会情報推進委員会研修視察

《2月》

7日 茨城県市議会議長会議員研修会

18日 全員協議会

19日 筑西広域市町村圏事務組合議会
定例会

20日 議会運営委員会

28日 議会情報推進委員会

28日 第1回定例会

《3月》

19日 第1回定例会

（第1回定例会日程に掲載）

《4月》

8日 議会情報推進委員会

★編集後記

東日本大震災から、今年の3月11日で3年を経過しました。東北をはじめ被災地や被災された皆様におかれましては、未だ震災前の生活からは程遠い状況です。被災に遭われた皆様へのお見舞いと、1日も早い復興を心よりご祈念申し上げます。

昭和29年に1町4村が合併し誕生した結城市は、今年の3月15日で市制60周年を迎えました。

これまでの間、ふるさと結城市のために、ご尽力いただいた先人や諸先輩方に深く感謝し、この素晴らしい結城市を次の世代に継ぐべき責任を果たすため、市制60周年を契機に改めて、我々議員が一致協力して、新たな未来への扉を開くために頑張っているかなければなりません。

「ゆうき市議会だより」も市民の皆様によりわかりやすく読んでもらえるように、より一層工夫してまいります。

(情報推進委員)

★表紙によせて



3月23日(日)結城市総合型スポーツクラブが設立され、記念イベントとして、ボランティアガイド案内のもとテレビでも紹介された市内観光スポットをウォーキングして、総合型スポーツクラブを体験した時の一コマです。